

地域ぐるみの子育て支援拠点をめざす「わくわくクラブ」

## 特定非営利活動法人ワーカーズコープ

機関名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ (青井兵和通り商店街振興組合)		
所在地	東京都足立区青井3-36-10		
電話番号	03-3887-8250		
地域概要	(1)管内人口 61万9千人	(2)管内商店街数 80商店街	
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 1商店街	(2)会員数 48商店	
	(3)空店舗率 -%	(4)大型店空き店舗数 店	
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

### 【事業名と実施年度】

平成14年度 コミュニティ施設活用商店街活性化事業

空き店舗を借り上げ、主に子供を対象とした以下の  
コミュニティ施設として活用するもの

- ・子供の一時預かり所・親子の交流スペース
- ・児童の放課後の遊びスペース等

総事業費

12,406千円

### 【事業実施内容】

#### 1. 背景

青井兵和通り商店街は、都内地下鉄綾瀬駅と東武五反野駅から徒歩20分に位置するなど交通の便が悪いものの、30年間続く朝市の他、6年ほど前からは第二土曜日に産直野菜を特価で提供する「まんぞく市」を実施するなどの人気イベントを活発に展開してきた。

しかし、近年大手スーパー進出により売上が減少し閉店に追い込まれる店舗が少なくないほか、近隣の団地でも高齢化が進行し来客層も高齢化している。

当商店街では、厳しい状況を踏まえて商店街中ほどに「わくわくクラブ」を設置することとした。本事業の目標は以下の4つであった。

#### ①商店街の活性化

後継者不足などでシャッターを閉めていく店舗が多い中、客層の若返り、売上の増大などの活性化と商店街全体が自然な子育てにやさしいまちになることをめざす。

#### ②親子がともに育ちあう場

子育て親子が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる拠点にする。親同士が交流し、学びあう中で、地域で共に支えあう関係、仲間作りをめざす。

#### ③足立区学童待機児童解消

足立区の学童待機児童は二百数十名にのぼり、「わくわくクラブ」ができることによりそ

## 特定非営利活動法人ワーカーズコープ

の解消をめざす。

### ④働く親の子育て支援

働く親が安心して子供を預けられる場をつくり、放課後から夜間まで、子供たちの楽しい場所をつくり地域で見守る。

## 2. 事業内容

### ①オープンセレモニー：平成15年1月26日（日）

挨拶、甘酒サービス、フリーマーケット、動物ふれあい、広場、竹馬、石蹴り、剣玉、コマ、カラオケ、輪投げ、等

### ②親子広場（午前中）：

乳幼児を対象とした親子交流の場を午前中開催。親同士が交流し、学びあい、子育ての悩みなどを共有できることを目的とし、次のような事業を実施している。

- ・おやこひろば
- ・手造り教室
- ・紙芝居
- ・お母さんの手作り教室 等

### ③学童クラブ「わくわくクラブ」（午後）：

足立区の学童待機児童解消を目指し、午後は学童クラブとして運営している。平成15年3月31日現在 児童3人が入室中

他の学童クラブと違う特色としては、

- ・商店街の中で世代を超え、地域の人に見守られながら育つ。
- ・手作りおやつを皆で楽しく食べる。
- ・宿題も皆でやり、わからないことは職員一同と一緒に考える。
- ・延長保育は夜間8時まで預かる。

### ④子育て連続学習会（育児サポーター講習会）

「商店街・まちぐるみで子育ての支えあい」を目標とした講習会で、子育てに悩んでいるお母さんや、子育ての経験を地域に活かしてみたい人、子育てをもっと学びたい人、関心のある人などを対象に実施した。

- ・講習期間：3月3日～20日（33時間）
- ・受講生：9人（平成15年3月31日現在）

## 【効 果】

(1) オープニング祭りに二百数十人が参加し、マスコミの注目を浴び（日本経済新聞、朝日新聞、読売新聞、産経新聞、NHK、東京商工会議所MXテレビ等）青井兵和通り商店街の知名度アップにつながった。

(2) おやこひろば、学童クラブの開設により「商店街の客層の若返り、その親たちが商店街で買い物をしていく」ということで青井兵和通り商店街活性化の第一歩を踏み出せた気がする。

### ①「おやこひろば」「手作り教室」へのお母さんの声

- ・このような場所ができるのを待っていた。
- ・色んなお母さんと出会いお友達もできたので良かった。
- ・家にはないおもちゃ（特に木製おもちゃ）がたくさんあるので、子供も喜んでいる。

②子育て連続学習会（育児サポーター講習会）

開講当初、緊張していた受講生も徐々に打ち解けていき、仲間意識も芽生え終了時には「わくわくクラブ」でボランティアとして活動していきたいという者もでてきた。終了時の主な感想は以下のとおり。

- ・子育て中であるが自分一人では考えられない事を教えてもらい勉強になった。
- ・受講するか迷っていたが講義を聴いていくうちにだんだんのめりこんでいった。受講して本当に良かった。
- ・自分は商店街の中に住んでいる。大変勉強になった。これからは「わくわくクラブ」と商店街の橋渡しの役をやっていきたい。 他

【課題・反省点】

平成17年には、JRつくばエクスプレス「青井駅」が開設予定であり、通行量の大幅な増加が見込まれる。今後もコミュニティ拠点としての商店街の役割をいかに果たしていくか、若い世代の来街者増加・確保のための戦略をいかに構築するかが重要な課題である。